

UDフォントの比較例

一般的なフォント

当社では高精細印刷をいち早く導入し、より美しい印刷物を提供いたしております。

これまでの印刷が1インチあたり150×175個の網点で構成されていたものを、300個で印刷することにより、豊かな色調の変化を忠実に再現し、人肌などのざらつきもなく明暗の滑らかな階調も写真のように表現することができ、より美しい仕上がりが求められる美術系の印刷物や、正確な再現が求められる医学系の印刷物にも充分に比べられる品質を提供できるようになりました。

高精細印刷によって、効果が得られる写真は次の通りです。毛皮（毛の一本一本が鮮明に見えます）・電化製品（小さな表示なども見えます）・貴金属（輝きがよりはっきりと見えます）・仏像（細やかな凸凹まで鮮明に）・織物（柄や縫い目もはっきりと）・小さい顔写真（ディテールが鮮明に）・髪の毛（美容室さまのチラシなどに最適です）・生鮮食品動植物（シスル感がそこなわれません）

自動車（ボディの色の調の変化を美しく表現します）

木工品（木目の美しさなども強調します）

高精細印刷によるその他のメリットは次の通りです。

- ・白抜き文字なども、くつきりと見やすくなります。
- ・網点スクリーンと絵柄との干渉によって現れる「モアレ」という模様がほとんど目立たなくなります。
- ・デジタルプリントなら、欲しいときに、必要なものを、必要な部数だけ印刷できます。これまで少部数で割高になっていた印刷物も気軽に作ることができ、コストも下がります。
- また、過剰な在庫を持つ必要がないため経費削減ができ、資源の有効活用にもつながります。

UDフォント

当社では高精細印刷をいち早く導入し、より美しい印刷物を提供いたしております。

これまでの印刷が1インチあたり150×175個の網点で構成されていたものを、300個で印刷することにより、豊かな色調の変化を忠実に再現し、人肌などのざらつきもなく明暗の滑らかな階調も写真のように表現することができ、より美しい仕上がりが求められる美術系の印刷物や、正確な再現が求められる医学系の印刷物にも充分に比べられる品質を提供できるようになりました。

高精細印刷によって、効果が得られる写真は次の通りです。毛皮（毛の一本一本が鮮明に見えます）・電化製品（小さな表示なども見えます）・貴金属（輝きがよりはっきりと見えます）・仏像（細やかな凸凹まで鮮明に）・織物（柄や縫い目もはっきりと）・小さい顔写真（ディテールが鮮明に）・髪の毛（美容室さまのチラシなどに最適です）・生鮮食品動植物（シスル感がそこなわれません）

自動車（ボディの色の調の変化を美しく表現します）

木工品（木目の美しさなども強調します）

高精細印刷によるその他のメリットは次の通りです。

- ・白抜き文字なども、くつきりと見やすくなります。
- ・網点スクリーンと絵柄との干渉によって現れる「モアレ」という模様がほとんど目立たなくなります。
- ・デジタルプリントなら、欲しいときに、必要なものを、必要な部数だけ印刷できます。これまで少部数で割高になっていた印刷物も気軽に作ることができ、コストも下がります。
- また、過剰な在庫を持つ必要がないため経費削減ができ、資源の有効活用にもつながります。

(左右とも同じ大きさです。)

多くの方が「見やすい」「読みやすい」と感じられる目にやさしい文字。それがUDフォントです。下記の一般的なフォントとの比較で一目瞭然ですが、お客様へ伝えたいことをスムーズに読んでもらうことができるので、いろいろな業界で注目され、どんどん普及が進んでいます。



見やすさをとことん突きつめたフォント。一文字一文字に読みやすい理由があります。

ここが見やすい 1

一般的なフォント UDフォント

ここが見やすい 2

一般的なフォント UDフォント

ここが見やすい 3

一般的なフォント UDフォント

ここが見やすい 4

一般的なフォント UDフォント

アルファベットの「G」。一般的なフォントの「G」と比べると無駄がなく、充分な空きがあって見やすくなっています。

ひらがなの「き」。まぎらわしい画線をなくしてシンプルに読みやすくなっています。離すところは離す、付けるところは付ける、このメリハリが特徴です。

左は文字サイズが小さくなると濁点がかくつきすぎて読みにくくなっていますが、右は離れているため判別できます。

漢字は小さくなればなるほど、判別がしづらくなります。「定」の文字はフォントによっては小さくなると「疋」に見えたりすることもあるんです。

ここが見やすい 5

一般的なフォント UDフォント

数字にははっきりと差別化するための工夫が施されています。

こんな工夫も大切です！

- 太字にする
- 書体を変える
- 反転文字にする
- アンダーラインを付ける

色やデザインを工夫し、多くの方に識別しやすくすることが大切です。表示等、強調したい場合、色だけでなく形の変化をつけましょう。